

月にみがきて



更級小学校だより
No. 16 H27. 3. 10

校長講話「更級小の宝」

2月25日(水)に校長講話で「更級小の宝」というお話をさせていただきました。

更級小学校には他の学校にないようなものがいくつかあります。みなさんも毎日目に見ているけれど、案外忘れていたものがあります。そこで今日はそんな更級小学校の宝のいくつかを見てみたいと思います。

第1問。これはなんでしょう。難しいけれど何かの木だといえはわかる人が多いかもしれません。そうです。みなさんの昇降口の両脇にある杉の大木です。この杉の大木は平成14年秋に冠着山の山の神池の上の伝説の岩「竜の爪」の近くにあったという杉の木です。どんな岩か見てみたいですね。羽尾、須坂、内川、上徳間、千本柳など冠着山財産区の山にある木を寄付していただいたのです。この木の年齢は正確にはわかりませんが、100年に近いのだらうと思います。その当時の子供達で木の皮をむき、柿の渋を塗って木が傷まないようにしました。これだけの大きな木が校舎にある学校はありません。更級小学校の宝ですね。

第2問。さあ今度はこれを聞いてください。
お話をしているグループの名前は何でしょう。このお話の題名がわかりますか。これは難しいですね。知っている人も何人かいると思います。コネット更級の朗読の会の皆さんがみんな朗読している「石の仏さんもたまには怒る」です。朗読の会の皆さんが読んでいたこの民話は羽尾の民話と言って、この更級の昔のことを調べてよく知っていた塚田哲夫さんという人が昔からの言い伝えをもとに書いたお話です。それを皆さんもよく知っている野本洋子さんや歴史資料館の荒井君江さんがわかりやすく方言を使って書き直したものです。22のお話が『さらしなの里 羽尾の民話』という本には載っています。これも他にはない更級小学校の宝といえるでしょう。



3月14日には朗読の会の皆さんが千曲市あんずホールで「おしょうさんとぼたもち」という創作民話を群読、みんなで読むそうです。

第3問。この写真のものは何でしょう。
そうです。騎馬戦の像の後ろに掘ってある「言葉 更級小学校の父母これをつくる」です。更級小学校と言ったら騎馬戦の像ですね。この騎馬戦の像は今から45年前、その当時のPTAのお父さんお母さん達が学校の今の校庭に立っていた旧校舎から今の校舎があるところに全面改築したとき、記念として笹村草家人先生という有名な彫刻家の先生にお願いして作ってもらったものです。どんな像を建てるかPTAの役員、先生方がさんざん悩んで最後に決めたのが四人の騎馬戦の像でした。健康なたくましい子供に成ってほしい、騎馬の四人がそれぞれ自分の立場を自覚してベストを尽くし協力して前進してほしいと言う願いを持っています。

群像は四人の子供でできていますが、四人だけではなく学校の子供全員を表現しています。騎馬像の方向は冠着山の頂を向いており、更級の地を愛して広く世界に活躍して



ほしいという願いもあります。

更級小学校には3つの宝以外にもムクロジの木など他の学校にはないものがたくさんありますが、なんと言っても学校の宝の一番は騎馬戦の像に代表されるみなさん一人一人全員です。

今年度もみなさんは去年の4月頃に比べると大きく成長しています。そんなみなさんの集まりである学級(教室)も成長してきました。

そんなみなさんに蒔田晋治さんという人はこのようにいっています。「教室は〇〇するところだ」といっています。〇〇は为什么呢。

教室は〇〇うところだ

蒔田晋治

みんながどしどし手をあげて
 〇〇った意見を言おうじゃないか
 〇〇った答えを言おうじゃないか
 〇〇うことをおそれちゃいけない
 〇〇うことをわらっちゃいけない
 〇〇った意見も
 ああじゃないかこうじゃないかと
 みんなで出し合い言い合うなかで
 そうしてみんなで伸びていくのだ

〇〇った答えも
 ほんとのものをみつけていくのだ

どうですか。そうです。「まちがう」ですね。「教室はまちがうところだ」という詩です。わからないこともみんなが意見を出し合うことでだんだんわかってくるんですね。この詩は長いので、今日はその続きの一部を紹介します。

神様でさえまちがう世の中
 まして これからの人間になろうとしている
 ぼくらがまちがってなにがおかしい あたりまえじゃないか

安心して手を上げろ 安心してまちがえや
 まちがったって
 わらったり ばかにしたり おこったり そんなものおりやあせん
 まちがったって だれかがなおしてくれるし 教えてくれる
 こまった時には先生が ない知恵しぼって教えるぞ

そんな教室つくろうや
 みんなでしゃべって作ろうや
 そんな教室作ろうやあ



絵本にもなっています。読んだことがある人もいるでしょう。毎日全員で朝分担任して呼びかけのようにして読んでいる学級もあります。「失敗、いっぱい、大歓迎」そんな教室になったら、学校もどンドン楽しくなりますね。そんな教室、学級めざしてこれからもがんばりましょう。

校長先生のお話をお聞きし、本校は本当に宝物に恵まれている学校だと思います。そして、その宝物は、更級の地を愛し、学校を大切に思っ下さる地域の方々の思いで成り立っているものです。地域の方々も本校の大切な宝物です。これらの宝物に囲まれて、失敗や間違いを恐れず、伸び伸びと学ぶ子どもたちに育てていきたいと思ひます。